

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	第	号
------	---	---	---

氏 名 李 燕

論 文 題 目

ロンドンの区立図書館「Idea Store」の再編計画に関する研究
(Study on Reorganization of Public Library 'Idea Store' in London)

論文審査担当者

主 査 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 小松 尚

副 査 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 西澤 泰彦

副 査 名古屋大学大学院工学研究科 准教授 恒川 和久

論文審査の結果の要旨

本論文は、移民が多く居住するロンドン市タワーハムレッツ区（以下、TH 区）の区立図書館「Idea Store」（以下、IS）の再編計画について、地域の課題や市民の今日的ニーズに応えるために、公共図書館の建築空間や立地、提供プログラムがいかに再編されたのかについて分析、考察したものである。

本論文は7章からなる。第1章では本研究の背景、目的、方法を説明し、第2章では日本とイギリスの公共図書館の経緯や現状、計画等について整理し、既往研究のレビューとともに本研究の位置づけを行った。第3章ではTH 区の公共図書館11館を5館のISと2館の既存館に再編するに至る経緯と成果を整理し、貸出冊数に比べて来館者数が大幅に伸びたことを確認した。第4章ではイギリスにおける公共図書館の制度・計画方針、大ロンドン及びTH 区の都市・地域計画と各IS の関係を分析し、IS は公共図書館に関する行政計画だけではなく、母都市の上位計画に基づいて区立図書館の立地を再編し、さらに地域のコミュニティ・プランと連動しながら提供プログラムを再編している点を明らかにした。第5章ではTH 区域における立地再編計画の戦略性と、各IS の建築空間の特性を分析した。立地戦略については、商業集積や公共交通機関に近く、アクセスしやすい場所であるだけでなく、就業や健康問題等の面でTH 区域内の地域毎の特性と深く結びついており、それが5館のIS 各々の建築空間のありかたや提供プログラムの設定に結びついている点を明らかにした。建築デザインについては、外部から内部への高い視認性を確保したデザインや、入りやすく感じさせるための色彩豊かなインテリア・デザインを行うとともに、閲覧室も道路や商店街に面する場所に配置し、賑わいや喧噪感を許容する空間としている点を指摘した。第6章では各IS で提供されているプログラムについて、前章で分析した建築空間や立地の特性と関係づけながら経年的に分析、考察した。5館のIS それぞれは、立地する地域の個別課題とニーズに応じて子どもや高齢者向けの定期イベントや就業・健康支援の学習コースを提供している点、また地域特性に応じて異なる提供プログラムを展開しながら中核施設とサテライト施設からなる公共図書館ネットワークを形成するに至っている点を明らかにした。第7章では研究を総括し、日本の公共図書館の再編に対して、立地、建築デザイン、他用途との複合化、地域特性への丁寧な対応の点について示唆を提示した。

人口減少や高齢化が進むわが国の持続可能な地域社会の形成に向けて、公共施設の再編が建築・都市計画の喫緊の研究課題になっているが、本研究の成果は地域課題や市民ニーズに応える公共図書館の計画要件を提示している。また、公共施設全般への再編計画に対する示唆も提示されている。総合して、学術面だけでなく実践面でも高く評価できる内容である。

よって、本論文の提出者李燕さんは博士（建築学）の学位を授与される資格があるものと判定した。